

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。

親子ミニ防災教室in ボランティア交流会 親子ミニ防災教室 スキルアップ講座 を開催しました



この講座は両日とも、富山万里子氏（NPO 法人男女・子育て環境改善研究所事務局長）に講師として来ていただきました。

親子ミニ防災教室は、福岡県とNPOの協働事業で行われており、本年度県内40か所で開催されています。また、この活動は防災士さんなどの防災ボランティアや託児ボランティアとも協働で行われています。



10月5日（金）の親子ミニ防災教室は、子どもと一緒に楽しく防災が学べる講座で、エプロンシアターを見たり、防災の備えチェックをしたり、すぐに家庭で役立つ防災の知恵をたくさん得られる講座でした。

お茶を飲みながらのボランティア交流会では、参加団体の活動の様子を聞き、ふだんは会う機会のない団体の活動をお互いに知る機会になりました。

参加者アンケートから

Q、皆さんが参考になったこと

- 👑 第1位＝非常持ち出し袋
- 第2位＝エプロンシアター
- 同第2位＝防災チェックシート

- 非常用の水は2ℓボトルより、500mlボトルをいくつか用意しよう
- 携帯電話が使えなくなるので、家族・友人などの連絡先のメモを用意しよう…など

10月18日（木）には、さらにスキルアップ講座を開催し、エプロンシアターの仕方等、防災の知識を活かす方法を皆さんで話し合いました。

エプロンシアターは地震編と大雨編があり、どちらも手作りです、楽しく防災の話題に参加できるように工夫されていました。

このような活動を参考にして、災害が起こっても、なるべく少ない被害ですむように日頃から備えをし、家族や近隣の方とも話し合っておくことが大切であると学びました。



ボランティア交流会や講座は、関心のある方ならどなたでも参加できます。参加したら何かしなくてはいいということもありません。次回、交流会は3月開催の予定です。ぜひ、ご参加ください。



ポランコ屋から



編集後記：自分の非常持ち出し袋を点検するといろいろなものが足りませんでした。現金や常備薬、保険証のコピーなども必要かも。ウエットティッシュやあめ、チョコレートもあるとよいでしょう。水も家族の人数分必要…すると袋が大きく重くなってしまいました…！そんな時、持ち出し袋はひとつではなく家の中、家の外(車のトランクなど)2、3か所に分けて置くといいそうですよ。なるほど！(K. E)